

赤十字幼児安全法講習内容一覧

コース	時間	形式	内 容	コース	時間	形式	内 容
1	1.5	講義	(1)こどもについて (2)こどもの体の成長と精神・運動機能の発達 (3)こどもに起こりやすい事故の予防について ・事故の誘因 ・事故の予防	4	2	講義 講義と実技	(1)自治体の子育て支援システム (2)子どもの虐待を防止するために (1)災害時とは (2)気を付けたいところからだのサイン (3)心地よく生活するために ・緊急時のおむつ ・ホットタオルの作り方 ・段ボールの沐浴 等
2	2	講義と実技	(1)きずについて ・傷の手当・止血・包帯(手・指・頭) (2)打撲 (3)頭部のけが (4)骨折 脱臼 捻挫 固定 (5)熱傷 (6)異物の誤飲 (7)溺水 (8)熱中症 (9)鼻血 (10)虫刺され 咬創	5	2	講義と実技	(1)乳幼児の一次救命処置とは ・救命の連鎖 (2)手当の基本 ・周囲の状況の観察 ・傷病児の観察 ・体位の基本 ・協力者の要請・連絡・通報 (3)乳幼児の一次救命処置(PBLS)の手順 ・反応の確認・協力者を求める ・呼吸の確認・胸骨圧迫 ・気道確保 ・人工呼吸 ・胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせ ・AEDを用いた除細動 ・一次救命処置の継続 ・気道異物による窒息 ・気道異物の症状 ・気道異物除去の手順
3	2	講義と実技	(1)看病にあたって ・病気の特徴 ・観察の仕方 ・薬の使い方 等 (2)起こりやすい症状と手当について ・発熱 ・嘔吐 ・下痢 ・咳 ・けいれん ・痛み(頭・腹) ・便秘 (3)病気の予防と早期発見について ・基礎体力づくり ・食物アレルギー ・予防接種・健康診査 等 (4)医師へのかかり方 受診時の注意 等	5	2	講義と実技	(1)乳幼児の一次救命処置(AEDの使い方を含む)

※ 各コースの時間は、目安です。

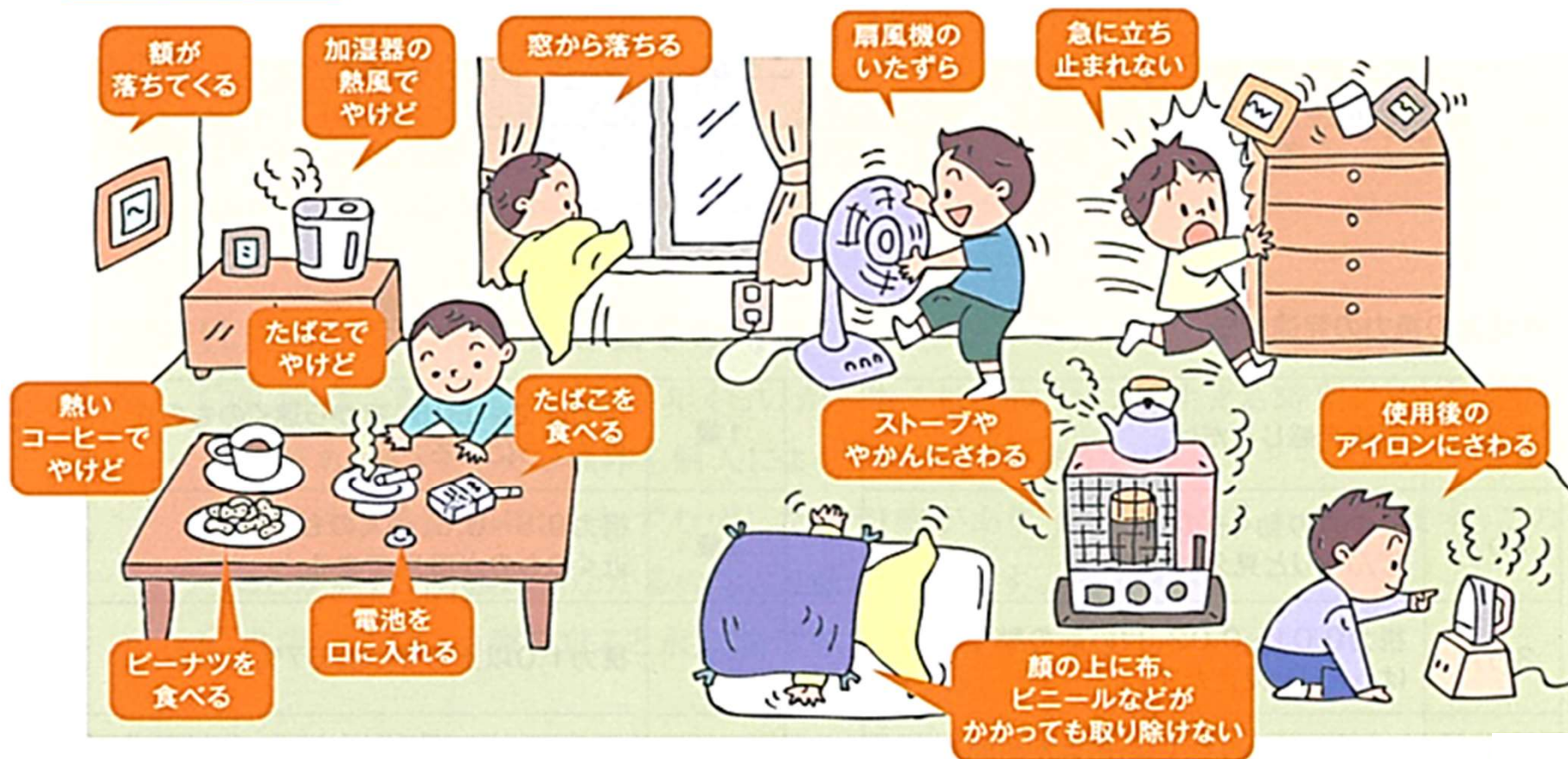
※ ご希望の開催時間により内容はご相談に応じます。

1 子どもの成長発達と事故予防

精神・運動機能の発達と、その時期に起こりやすい事故とその予防について学びます。
また、事故防止のための工夫などもご紹介します。

子どもの起こりやすい事故

居 間

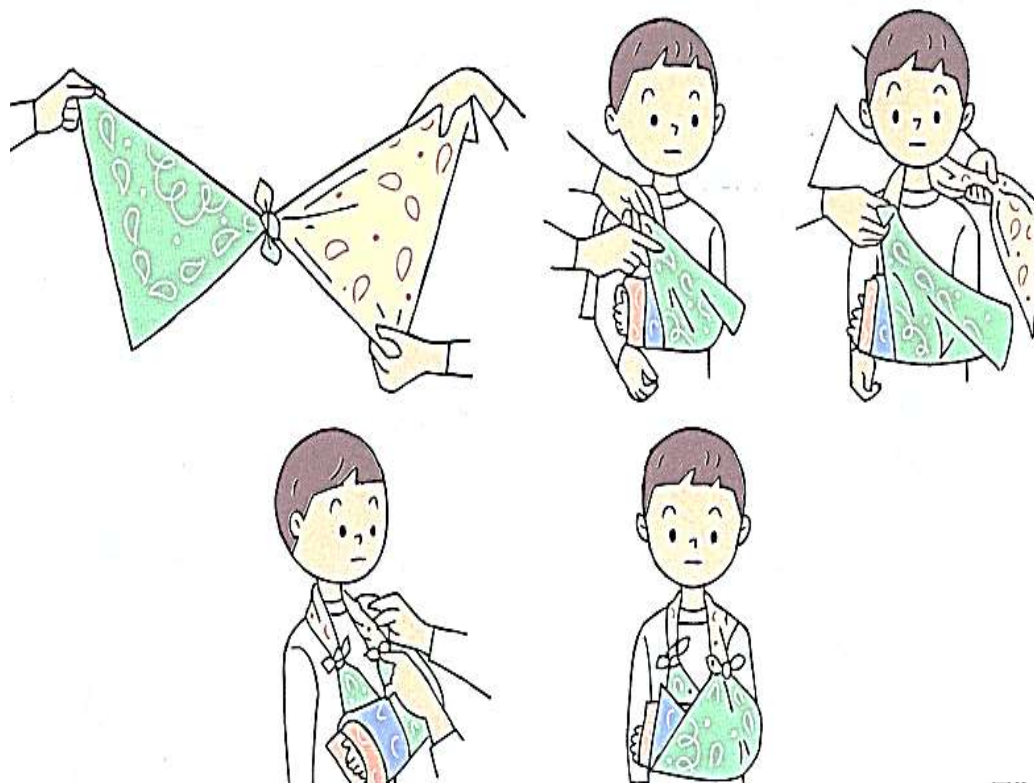


2 子どもの応急手当

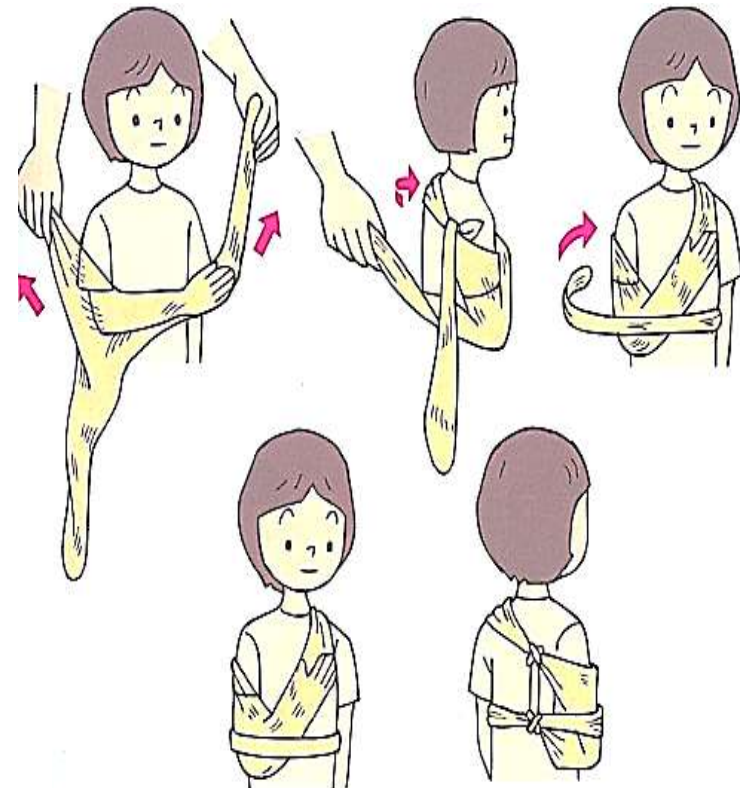
きずについての基本的な知識と、それに伴う応急手当(止血・包帯・骨折の固定・)の実技を行います。

応急手当は、身近なもの(ハンカチ・バンダナ・ストッキングなど)を使用した方法を学びます。また、火傷や誤飲・窒息、溺水、熱中症などの予防や対応を学びます。

雑誌やバンダナを使用して



ストッキングを使った包帯



3 子どもの病気と看病のしかた

子どもの病気の特徴や観察のポイント、起こりやすい症状とその対応について学びます。
医療機関に受診が必要な場合についても学びます。
また、体温の測り方やのどの見方など、実技を通して学びます。



目
表情
痛み
睡眠
皮膚
鼻
その他
のど

観察のポイント

**こんなときは
急いで病院へ**
(時間外でも夜間でも
診てもらいましょう)

- 顔色が悪い ■ぐったりしている
- 息づかいがあらい ■意識がない
- 頻繁に吐く ■出血がひどい
- ひきつけがなかなか止まらない

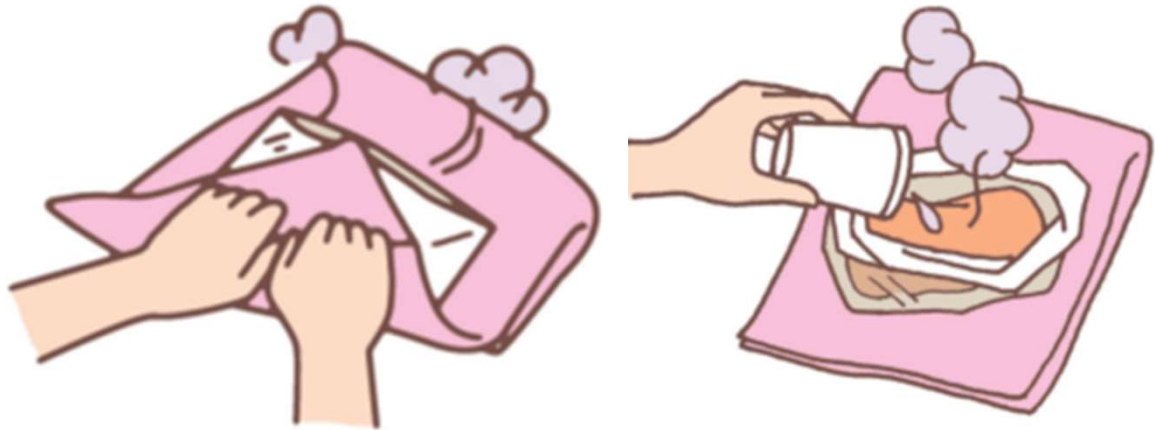
4 地域の子育て支援

地方自治体の子育て支援システムや虐待防止について学びます。

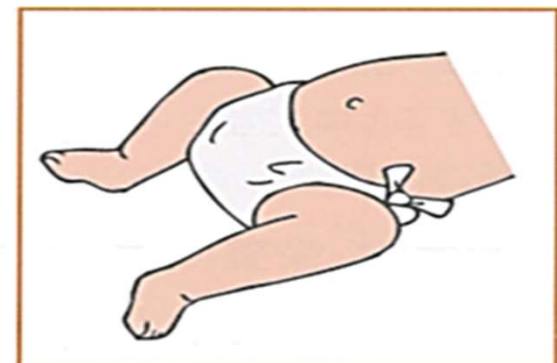
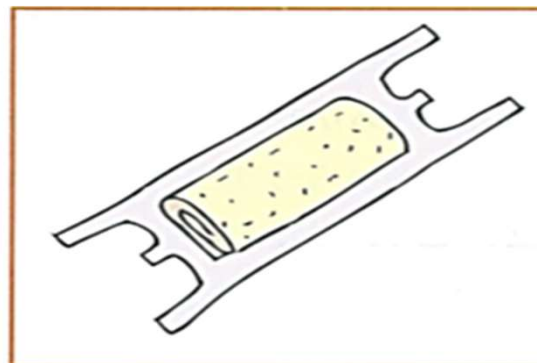
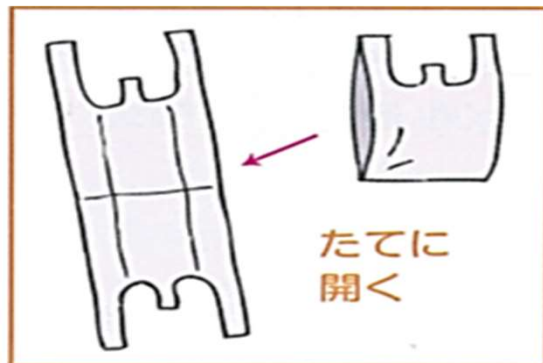
また、災害時の乳幼児支援について、気を付けたいこどものサインや対処法、避難時に役立つ技術(ホットタオル、レジ袋でオムツの作り方、バスタオル抱っこなど)を紹介します。

避難時に役立つ技術

少量の湯とタオル、ビニール袋でホットタオルを作り、体を拭いたり、頭髪を拭く方法を紹介します。



オムツの作り方(レジ袋)



5 一次救命処置

反応の確認、協力者を求めて119番通報とAEDの手配、呼吸(心停止)の確認、胸骨圧迫、気道確保して人工呼吸の仕方など、知識と技術を学びます。
また、AEDトレーナーを使って、AEDの使い方を学びます。



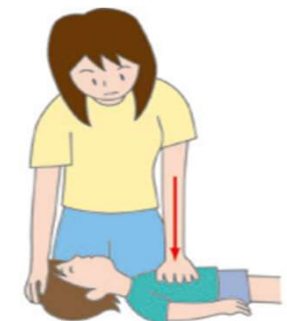
反応の確認



呼吸の確認



胸骨圧迫



人工呼吸



AEDの使い方 (電源を入れて、音声指示に従います)



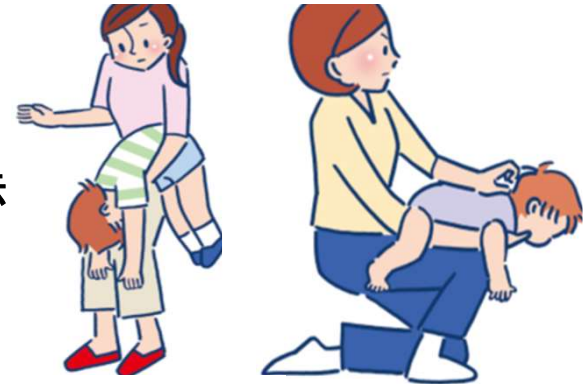
気道異物による窒息

気道異物を詰まらせたときの症状や気道異物除去の手順、技術を学びます。



元気だった子供が突然咳き込み、呼吸困難になったら、異物を気管に吸い込んだ疑いがあります。すぐに手当が必要です。

背部叩打法



腹部突き上げ法（幼児の場合）



胸部突き上げ法（乳児の場合）



※生体では、練習しないでください。